

アーバンクラシック JAZZコンサート

美野春樹トリオ 〈ゲスト 崎元 譲(ハーモニカ)〉

初冬の街 数々のクラシックや日本の名曲をジャズピアノトリオとハーモニカの音色に酔いしれて……

2012年

12月5日(水)

18:00 Open 19:00 Start

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 劇場

チケット料金 ¥6,500(税込み・全席指定)

一般発売 8月1日より

◆お問合せ先

香り小町 電話025(226)7676

受付時間10:00~18:00(水曜日は除く)

主催：香り小町

後援：BSN新潟放送 新潟三越伊勢丹

企画：CoMMuNiCaToR

美野春樹ファイル

《作曲及び編曲したアニメ》 「宇宙船サジタリウス('85)」「魔法使いさりー('87)」

《ピアノ・キーボードで演奏しているテレビ番組》 〈NHK 朝の連続ドラマ〉 「おしん」「瞳」「さくら」「ちゅらさん」「いもたごなんきん」「カーネーション」「梅ちゃん先生」〈大河ドラマ〉 「いのち」「秀吉」「毛利元就」「天地人」「龍馬伝」他 〈民放ドラマ〉 「家政婦は見た!」「コードブルー」「モンスターペアレンツ」「南極物語」「仁」「運命の人」他

《ピアノ・チェンバロ・シンセサイザーで演奏している映画音楽》 「三丁目の夕日(Always)」「銀色のシーズン」「築地魚河岸三代目」「かあべい」「おとうと」「THE有頂天ホテル」(出演)「マジックアワー」「すてきな金縛り」「二十世紀少年」「おっぴいバレー」「武士の家計簿」他

《CM JR東海京都へ行こう 太田胃散 他 いろいろなジャンルのレコーディングにも数多く参加》

◆チケット取扱い

香り小町 電話 025(226)7676

受付時間 10:00~18:00(水曜日は除く)

新潟伊勢丹 電話 025(242)1111(代表)

受付時間 10:00~19:30(月~金)

10:00~20:00(土・日・祝)

りゅーとぴあ 電話 025(224)5622

郵便振替(電話不要!! 今すぐ郵便局へ)

郵便局備え付けの白地に青い文字の振込用紙を使用して、
¥6,500×ご希望枚数分+チケット送料(¥600)の
合計金額を郵便振替でお振込ください。

- 送金方法
- ・口座番号:00590-3-100965
 - ・加入者名:香り小町
 - ・ご依頼人欄:お客様のお名前、ご住所
(チケットお届け先)、お電話番号
 - ・通信欄:美野春樹トリオ、希望枚数

注意事項

- * 送金の際、記入もれや料金不足があった場合、チケットをおとりできなくなります。送金前に再度ご確認ください。
- * お客様のご住所、お名前は読みやすくはつきりとご記入をお願いします。
- * ご入金後の枚数変更、キャンセルは出来ません。

美野春樹ピアノトリオ

美野春樹 Haruki Mino [Piano]



東京芸術大学作曲科卒。作曲を長谷川良夫氏に、管弦楽法を矢代秋雄氏に師事。現在、主にスタジオでの作曲・編曲家として、又ピアノ、キーボードプレイヤーとして活動。数多くのCM作品、テレビドラマやNHK大河・朝トラ、アニメーションの音楽、オーケストラ作品を作曲、リリースしている。一方ジャズメンとしても自ら「美野春樹トリオ」を結成。クラシック音楽をベースに即興を行う。“アーバンジャズクラシック”シリーズは、CDリリースタイトルが40作品以上にもものぼり、ベストセラーを重ねている。最近ではクラシックの室内楽にも熱意を注いでおり、独自のプログラムによる演奏会のプロデュース、演奏に積極的に取り組んでいる。ハーモニカの崎元 譲氏との共演、「亡きセルゲイへの追伸」「ヴォーカリーズ」などをリリース。今年11月25日に発売されるニューアルバムにも作曲・演奏家として参加。近年では二胡奏者の賈鵬芳（ジャー・パンファン）氏のアルバムより「タンゴ・オブ・エイジア」「月光」「桜日和」「四季」などの作曲を手がけ、コンサートサポートとしてステージやテレビでも活躍中。

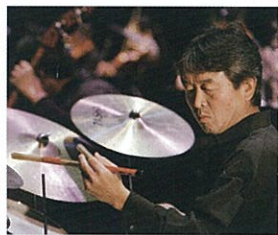
また、第一興商カラオケDAMの“名演ピアノ”で200曲以上の編曲と演奏を担当し、好評を得ている。

加瀬 達 Tohru Kase [Bass]

ポール・チェンバース、レイ・ブラウンなどを聴いて二十歳でベースを弾き始める。ジャズベーシストの池田芳夫氏に師事するかたわら沢田靖司クアルテット、リチャード・パイン&カンパニーなどに参加。その後、甲斐恵美子、美野春樹、島 健、羽田健太郎、トム・ピアソン、ジョン・海山・ネプチューン、ジャー・パンファン、Hi-Fi Set、山本潤子、小野リサ、島田歌穂、渡辺真知子、岩崎宏美、鮫島有美子、桑田佳祐、福山雅治、オレンジ・ペコ、JUJU、東京ジャズアンサンブル・ラボ、東京パノラマ・マンボ・ボーイズ、高橋達也リユニオンオーケストラなど経てライブハウスやコンサート、スタジオなどで活動中。また、NHK-BSの「BSジャズ喫茶」という番組のレギュラーを三年間務めた。



ミルトン富田 Miruton Tomita [Drums]



1950年浜松市生まれ。高校時代ネギドラムスクールに通いながら、うなぎの老舗“あつみ”の土蔵で練習に明け暮れ、その合間にジャズ喫茶“キャロル”に入り浸りガールフレンドに近所の八幡様の境内で「俺はジャズドラマーになるので別れてくれ」と青春時代を過ごし上京。大学時代、ジョージ大塚氏、ラテンドラムをキューバでオスカリート・バルデス氏に師事する。1972年東洋大学卒業、同年プロドラマーとなる。美野春樹トリオをはじめ、コンサート、ライブ、レコーディングで活躍している

GUEST

崎元 譲 Joe Sakimoto [chromatic harmonica]

佐藤秀廊氏に師事。1967年第1回のリサイタルを東京で開催。1970年に西ドイツのトロシゲン市立音楽院に入学しヘルムート・ヘロルドに師事した。1971年には、ロンドンで世界的ハーモニカ奏者であるトミー・ライリーに師事、また、第13回世界ハーモニカコンクールのソリスト部門第2位入賞を果たし一躍注目を浴びた。1973年、帰国リサイタルを全曲ハーモニカのオリジナル曲で開く。1978年、岩城宏之指揮、NHK交響楽団とヴィラ・ロボスのハーモニカ協奏曲を定期公演で協演、札幌交響楽団、東京交響楽団とも協演した。以降、1980年には小澤征爾指揮、新日本フィルとポール千原の「弦楽四重奏と管弦楽のための協奏曲」のハーモニカパートを演奏するほか、東京フィル、大阪フィル、京都市響、名古屋フィル、九州響、仙台フィルなど多くのオーケストラと協演している。リサイタルではフランクのヴァイオリン・ソナタを吹くなど、毎回変化に富んだ意欲的なプログラムを展開しており、現代日本の作品を紹介することも彼のライフワークの一つである。また、ソロだけでなくギターやハーブとのデュオ等にも意欲的であり、ギターの故 芳志戸幹雄、荘村清志、鈴木大介、アコーディオンの御喜美江、ハーブの三宅美子、ピアノの美野春樹、三宅榛名、高橋悠治、西村由紀江らと共演している。1997年には、演奏家生活30周年のコンサートをアコーディオンの御喜美江、ハーブの三宅美子、ピアノの三宅榛名、美野春樹をゲストに迎えて開いた。2002年に発売された、アコーディオンの御喜美江と共演したCD「ポエム・ハーモニカ」は文化庁芸術祭優秀賞を受賞、「この楽器の多様な可能性をみごとに表現している。」と高い評価を受けた。崎元 譲のハーモニカ音楽に対する姿勢は、他の楽器と十分に肩を並べられるだけの表現の幅を持った音楽を演奏することである。それだけの表現の可能なスライド式のクロマティック・ハーモニカを使用し、またそれを普及させる努力を続けている。現在は各地でのコンサートのほか、映画、テレビ、コマーシャル、ラジオ出演などに活躍する傍ら、後進の指導にもあたっている。

